

# Ciao

チャオ

ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ 後援会だより

July 2025 no. 71



## < 目 次 >

☆ 巻頭言	武井アントニオ神父	…	1
☆ 海外派遣	参加メンバー紹介	…	2
☆ 活動報告	(2024 年度後期から)	…	6
☆ 2024 年度 役員会活動報告		…	10
☆ 2024 年度 決算報告		…	11
☆ 2024 年度 DBVG 寄付者・支援者		…	12
☆ 2025 年度活動予定		…	13
☆ ドン・ボスコ饅頭について		…	14



# 巻頭言

## 「希望は欺かない」

武井アントニオ神父



サレジオ会の武井神父です。日頃より、DBVG（ドン・ボスコ・ボランティア・グループ）の活動に対し、深いご理解と温かいご支援、そしてお祈りをいただき、心より感謝申し上げます。さて、皆さまもご存じのとおり、今年 2025 年 4 月 21 日、教皇フランシスコが天の御父のもとに召されました。彼の生涯は一貫して、主イエス・キリストとその教会への深い愛と献身に捧げられていました。教皇フランシスコは、私たちに福音の価値観に基づいた生き方、特に、最も貧しい人々や社会から疎外された人々への配慮を教えてくださいました。それは長い講話や理論ではなく、ご自身の具体的な行動によって、何よりも「出向いていく」姿勢をもって示されたのです。2013 年から 2025 年までの 12 年間、教皇は 68 カ国を訪問し、カトリック信者はもとより、他宗教の人々とも積極的に交流されました。その中でも特に印象深いのは、2019 年 11 月 23 日から 26 日まで来日の出来事です。83 歳という高齢でありながら広島、長崎、そして東京を訪れ、被爆地での祈りや若者との対話を通じて、私たちに多くの希望と課題を残してくださいました。その最大のメッセージこそ、「出かけて行きなさい」という呼びかけです。「閉じこもるのではなく、出向きなさい」教皇は繰り返し、そう語りかけておられました。私自身も、この教皇フランシスコの姿勢に大きな感銘を受けました。彼が語った言葉は、彼自身が体現していたことです。すなわち、「出向いていく教会」としての姿を生きておられたのです。日本にまで足を運び、共に祈り、語り、励まし合う姿に、まさに福音の生きた証しを見た思いでした。

そして、帰天される前、教皇は最後の重要なメッセージとして大勅書『希望は欺かない』を私たちに遺してくださいました。そこには次のような言葉があります。「キリストは死んで墓に葬られ、復活し、出現した。この方は、私たちのために死の惨劇を経験されたのです。御父の愛が、聖霊の力によってこの方を復活させ、その人性を私たちの救いのための永遠の初穂としてくださったのです。キリスト者の希望は、まさにここにあります。」(20)言い換えると神における希望は、決して私たちを裏切ることはありません。神はご自身に信頼する者の一步一步を、確かに導いてくださるということです。この『希望は欺かない』という教皇のメッセージを胸に、私たち DBVG もこの夏(8 月 25 日～9 月 8 日)、8 名の青年メンバーと共にベトナムでのボランティア活動に出かけます。ボランティア先でどんな状況においても、信仰、希望、愛という三つの性向を歩み出すことを通して、教皇フランシスコの遺志を具体的に実践していきたいと願っております。どうぞ、皆さま、引き続き DBVG のグループにご支援とご協力、そして何よりもお祈りを賜りますようお願い申し上げます。最後に皆さまにご報告があります。来年 2026 年、DBVG は創立 35 周年という節目の年を迎えます。これを記念し、以下の行事を予定しております。

### <35 周年記念行事のご案内>

#### ◆ チャリティーコンサート

日時：2026 年 4 月 26 日（日）

会場：調布教会

#### ◆ 記念ミサ・祝賀会

日時：2026 年 5 月 30 日（土）

会場：調布教会

皆さまお一人おひとりのご参加を、心よりお待ち申し上げます。これからも変わらぬご支援とお祈りを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 2025年度 海外派遣メンバー

派遣先：ベトナム・南部メコンデルタ地方 カマウ省

日程：8月25日～9月8日

引率：武井アントニオ神父、レ・ファン・ギエ・フー神父

参加者：有田よし乃(24)、上山桃華(24)、島埜内日奈子(24)、関根俊介(24)

梅村奏子(初)、中西賢一(初)、高橋大樹(初)、池田麦人(23)

## \*\*有田 よし乃\*\*

こんにちは！上智大学 4 年生の有田よし乃です。中学校、高校と宮崎にある日向学院を卒業し、その後もサレジオとの繋がりを通して貴重な経験をさせていただいています。去年はベトナムに派遣され、現地の子どもたちや信者の方々との関わりの中でサレジオ家族の温かさが世界共通のものであるということ、途上国支援がどれほど必要とされているのかということ学びました。今年も、カマウ省の人々と再会できることを嬉しく思います。

去年と違うことは、私が洗礼を受けて信者として参加することです。コルカタの聖テレサの取り次ぎによって、小さなことを大きな愛をもって行う 10 日間にしたいと思います。

また今年は大学 4 年ということで、卒業論文の執筆を控えています。私の専門は途上国の教育開発なので、現地でサレジオ会が行っている教育事業がどれほど教育開発に貢献しているのかということ、昨年よりも学問的な視点で見たいと思っています。出来上がった論文が、少しでも現地の子どもたちの教育改善に役立つことを願っています。

お祈りよろしくお願い致します。



## \*\*島埜内日奈子\*\*



こんにちは。昨年に続き今年も海外派遣ボランティアに参加させていただきます、福岡大学 3 年生の島埜内日奈子です。宮崎県の日向学院出身で、現在大学ではスポーツ科学を専攻しています。去年は自分にとって初めてのベトナム・初めての海外ボランティアで慣れない環境の中で体調を崩してしまったり上手くいかないことも多々ありました。しかし、自分の思っていた以上に私たちの活動による現地の方々への影響は大きかったようで、非常に嬉しい気持ちでいっぱいです。再び現地の方々の役に立ちたいと思い、今年も参加を希望しました。そして、よく学び、祈り、作業

し、子どもたちと交流し、ドン・ボスコの精神で活動し、更なる自分自身の成長にも繋がりたいと考えています。去年の経験を活かし、今年も役に立てるよう尽力していきます。よろしくお願い致します。



### \*\*梅村 奏子\*\*



今年の三月まで名古屋で暮らしていましたが、四月から東京の大学に通うことになり、現在は祖父母と暮らしています。そこで、祖父母から父や叔母たちが DBVG に参加した際の、楽しく貴重な体験談を聞く機会がありました。派遣先がベトナムだということで、ボランティア経験もない私にとっては未知の世界ではありますが、今はわくわくした気持ちでいっぱいです。DBVGはサレジオ会の活動であり、創業者であるドン・ボスコについて知ることは欠かせないと思っています。そこで、出発前にドン・ボスコに関する書籍を読み、活動の精神を学びたいと考えています。幸い、私は毎週日曜日に調布教会に通っており、神父様やシスター、神学生の皆さんと接する機会があります。その中で、多くのことを学び、心の準備をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

### \*\*関根 悠介\*\*

私が今回の DBVG に志願した理由は、去年の DBVG の経験が自身の生活にとっても大きな影響を与えたと感じているからです。

私は今年の DBVG で二度目の参加になりますが、去年は初めての海外経験、そして長期間のボランティア活動となり、今までは考えもしなかったような思考を持つことができるようになりました。私生活の中で海外に目を向けることが多くなったり、今まで以上に世界中の貧しい人々への関心が高まったりしました。そして、どこで生まれ育った人でも、例え言語が通じなくても、他の方法でいくらかでも通じ合えるということがわかりました。現地の人々との日々は、日本で生活している中では絶対に味わうことの出来ない、かけがえのない思い出です。今年度の DBVG では、去年の経験や記憶を活かしながら、仲間と共にもう一度現地の人々の助けになれるように、精一杯ボランティアを頑張りたいと思っています。



### \*\*中西 賢一\*\*



今年から大学1年生になりました。中西賢一と言います。昔はサレジオ志願院でお世話になりました。今は観光ビジネスについて学び、将来は国際的な視野を持ち、多文化理解を深めた仕事に携わりたいと考えています。以前、旅行でベトナムを訪れた際、現地の人々の温かさや笑顔に触れ、大変感動しました。その経験から、今度は自分自身が現地の人々に貢献する立場になりたいと思い、今回の海外派遣ボランティアに応募しました。特に子供たちと一緒に活動することに関心があり、支援や遊びを通じて交流を深め、子供たちの笑顔を引き出したいと考えています。異なる文化の中での体験を通して、自分自身の視野を広げ、他者との関わり方やコミュニケーション力を高めていきたいです。自分の成長とともに、現地の子供たちのために少しでも貢献できるよう努めたいです。

### \*\*上山 桃華\*\*



こんにちは。大学4年の上山桃華と申します。DBVGへの参加は、昨年に続き今回が2回目となります。私は日向学院出身で、在学時の校長先生であった濱崎神父様から活動について伺い、興味を持ち昨年初めて参加しました。昨年のカマウでのボランティアでは、文化や言葉の壁に戸惑う場面もありましたが、それを乗り越えて心が通じ合ったときの喜びや、現地の方々の温かさが印象に残っています。今年はその経験を土台に、より積極的に現地の方と関わり、チームと協力しながら、自分にできることを一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと考えています。活動を通して得られる気づきや学びを、今後の人生や社会人としての歩みにも活かしていければと思っています。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### \*\*高橋 大樹\*\*

こんにちは。大学2年生の高橋大樹です。出身は埼玉です。私はDBVGで国内ボランティアを経験しました。そこではボランティアに関するだけでなく、人との会話や遊びなどから多くのことを学び取ることができました。これは学校では学べないことだと思います。そのため、今回の海外でも自分のスキルを活かして壮大に色々なことを学びたいです。私が思うに大学生時代は、人生の中で貴重な成長期だと思います。私は趣味がたくさんあり、映画鑑賞や音楽を聞いたり、楽器を弾いたり、絵を描くことも好きです。これまでのDBVGのボランティアは単なる活動だけでなく、現地の人と交流し仲良くなることが重要だと分かりました。もちろんDBVGのメンバーと仲良くなることは当たり前のことだと思います。なので、みなさんよろしくお願いします。なんでも頑張ります。



### \*\*池田 麦人\*\*



みなさま、こんにちは。大学4年生の池田麦人です。今年は、昨年果たせなかった想いを胸に、再びこの場に戻ってまいりました。何を隠そう私は、昨年のDBVG海外ボランティアに参加する予定でしたが、肺の病気を患い、参加を断念していました。今回はその雪辱を果たすべく、参加させていただきました。

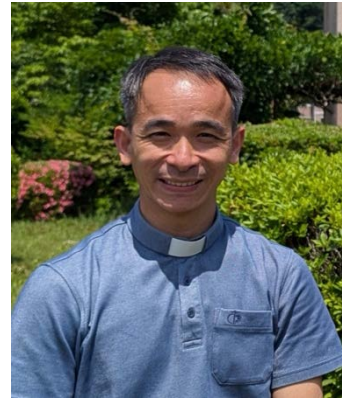
ところで、「ボランティア」という言葉の語源はラテン語の「voluntas」であり、これは「自発的な意思」を意味するそうです。そして、ドン・ボスコが大切にしていた「Faccio io (私がやります)」という言葉はまさに、そのボランティア精神を体現して

いるものだと感じます。今回の海外ボランティアでは、特にドン・ボスコの子どもとしての自覚を持ち、「Faccio io」の精神を存分に発揮していきたいと思っています。そして何より、健康を保ち、無事に活動をやり遂げられるよう祈るばかりです。皆様からのお祈りお待ちしております。よろしくお願いいたします。



**\*\*Le Pham Nghia Phu\*\***

サレジオ会のフー神父です。昨年度から DBVG のスタッフの一員として活動に参加させていただきました。神学生であった時代、「若者のボランティア」について興味を持ち、大学の勉強でもそれを調べたり、レポートしたりしました。ボランティア活動を通して、若者がイエス・キリストが教えてくださった「隣人愛」を体験することができる大切な場だと思います。嬉しいことに今年も派遣されるメンバーと共にベトナムへ行くことになりました。ワクワクの気持ちでこれからの活動を望んでいます。





## <活動報告>

### 【2025年2月活動：修道院での炊き出し活動】

2月14日、今回の国内ボランティアは、東京都足立区にある「神の愛の宣教者会」修道院へ行き、マザーテレサのシスター方と炊き出しを行いました。この日は平日だったので、参加者は春休み期間に入った学生が多数でした。

修道院に到着するとシスター方があたたかく迎え入れてくださいました。そして、シスター方と毎週炊き出しを行なっている一般の方も一緒にお祈りをして活動を始めました。午前中は、野菜を洗って切ったり、お弁当詰めをしたり、おにぎりを作ったり、その他の配布する食品の袋詰めなどを行いました。その後、シスターや協力してくださった方々と一緒にロザリオを唱え、聖書を読み、分かち合いを行いました。分かち合いでは、主に「貧しい人々は、幸いである」という聖書の箇所から、神様以外の色々なことで満たされていることによって神様のことや苦しんでいる人のことを忘れてしまい、貧しいからこそ神様がともにいてくれているということを感じ、お祈りを大切にすることや神様や全ての物事への感謝を忘れないことを学びました。



そして、昼食はホームレスの方々に届けるものと同じお弁当をいただき、休憩を挟み、午後からホームレスの方々へ届けに行きました。河川敷沿いを歩いていると、だんだんと奥の方に木板やブルーシートで覆われた小屋のようなものが見えてきました。そしてそれは、ひとつポツンとあるのではなく、何軒かがかたまっていました。大雨や強風、台風に耐えられるのだろうか、冬場は寒さを凌げるのだろうかなど、様々なことを考えてしまいましたが、家の中には最低限の生活はできそうなものが揃っていたり、出入り口は引き戸になっていたり、自分が想像していた光景とは異なることもあり驚きました。また、「ホームレス」というと貧しく清潔感がないというようなイメージや偏見を持っていましたが、実際には服や靴はきれいな人もおり、自分が偏見を持っていたこ

とに反省をしました。シスターは体調が悪い人には風邪薬を渡し、一人ひとりに必ず体調を尋ね、食事会の開催を伝えていました。このようなシスターの姿は、貧しい人々・苦しんでいる人々のために何かを「してあげる」のではなく、「ともに生きる」というふうに見えました。

炊き出し終了後に一人のシスターと話をしていると、「大切なのは心だよ」と何度も仰っていました。更に、「ただ薬を渡すだけというのは、大きな誤りでしょう。わたしたちは、心を与えなければならないのです。」「大切なのは、わたしたちが何をするのかということではなく、どれだけの愛を、その行いに込めるかということです。小さなことも大きな愛を持って。」というマザー・テレサの言葉がありますが、私たちが今日見たシスター方の姿はまさにこの言葉通りだなと感じました。

一日を過ごし、シスター方の簡素な生活を間近で見て、貧しい人々・苦しんでいる人々とともにいるということを肌で感じ、「貧しい人々は、幸いである」という聖書の言葉の意味がよく理解できた一日となりました。これからも奉仕する心、感謝、愛を持って活動していきたいと思えます。



食事を作って、、、



お祈りをして、、、



食事配ります！



出発！！





## 【2025 年 4 月活動：修道院の荷物整理】

2025 年 4 月 26 日、私たちはイエスのカリタス修道女会の修道院に伺い、荷物整理のお手伝いをしました。修道院の建て替えに伴い、長年使われてきた本や家具を整理し、搬出する作業です。朝、修道院に到着すると、穏やかな陽光が敷地をやさしく照らしていました。建物の中に入ると、静けさと、どこか懐かしい空気に包まれます。細かなひびの入ったタイル貼りの廊下や、使い込まれた家具が、積み重ねられてきた歳月を静かに物語っていました。そして何より、玄関に据えられた大きな聖母子像が、強く心に残りました。



マリア様は、幼子イエス様をやさしく抱きしめるように立っていました。長い年月を経て、表面にはかすかな剥がれや色あせが見られましたが、その佇まいには、むしろ新しい輝きが宿っているように感じられました。訪れる人々を、ずっとここで見守り、迎え入れてきたのでしょう。たくさんの祈りや眼差しを受けながら、静かに微笑むその姿に、時を超えた温かさと、静かな強さを覚えました。

午前中は、長年使い込まれた金属製の机や棚などの家具類を搬出し、トラックに積み込んでいきました。これらは役目を終え、新しい修道院への準備のために、静かに送り出されることになりました。作業を終えたあとは、シスターが用意してくださったカレーライスをいただきました。手作りならではの家庭的な味わいで、どこか懐かしく、体の芯まであたたまるといえるような、優しいおいしさ

でした。みんなで食卓を囲み、笑いながらおかわりをする姿を見ていると、作業の疲れも自然と癒えていくのを感じました。食事の後は、皆で協力してお皿を洗いました。バケツに水を張り、声を掛け合いながら一枚ずつ洗っていく時間もまた、心に残る大切なひとときとなりました。

午後もしばらく、荷物の整理と運び出しを続けました。タイルの床に響く靴音や、トラックの荷台に積み上げられていく荷物の音。そんな小さな音の一つ一つが、この場所の歴史と未来を結びつけるリズムのように感じられました。

夕方、すべての作業を終えた後、私たちは修道院の聖堂に集まりました。そこでは、教皇フランシスコの追悼ミサが捧げられました。静かな聖堂に、賛美歌と祈りの声がやさしく響き渡ります。ろうそくの灯りが小さく揺れ、シスター方も、私たち DBVG のメンバーも、それぞれの心の中で祈りを深めました。亡くなった教皇様への感謝と祈り、そして、こうして支え合いながら生きていく私たち自身への祈り。すべてが静かにひとつに溶け合うような、深い時間が流れていました。

今回の活動は、シスター方のあたたかな支えがあってこそ実現できたものでした。目立たないところで私たちを気遣い、準備を整え、温かい言葉をかけ続けてくださったシスターの皆さんに、改めて心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、今回参加した DBVG のメンバーたちとの出会いにも、深い感謝を覚えています。年齢も経歴も異なる私たちが、同じ目的に向かって力を合わせたこの経験は、きっとこれからの歩みにも大きな力となると感じました。

物を運ぶだけでなく、心運び、支え合う。そんな一日を過ごすことができたことに、心から感謝しています。この日の小さな歩みが、これから先の活動へとつながっていくことを願っています。そしてまた、あの玄関に立つ聖母子像のように、どんな時も静かに、やさしく、誰かを迎え入れるような存在になりたいと思いました。



すいすい～



カリタス会のシスター方、ありがとうございました！





## ＜＜2024 年度 役員会活動報告＞＞

2025 年 6 月 14 日(土)に DBVG 役員会が開催されました。2024 年度活動報告、2024 年度決算報告、2025 年度活動予定が承認されました。また来年、35 周年記念行事を行うために準備委員会も設置されました。

2025 年度の役員会メンバーは以下の通りです。

代表責任者：サレジオ会管区長 濱崎 敦神父、担当責任者：武井 アントニオ神父

役員：井澤 恵理子氏、上村 祐子氏、大川 千寿氏、竹下 尚克修道士、棚橋 仁子氏、丸山 和美氏

会計監査：戸野 隆夫修道士、須藤 哲史修道士

どうぞ、よろしくお願い致します。

### 事務活動

寄付金の管理

会計帳簿の記入、郵便局・銀行口座管理、

その他支払い事務

青年たちの活動支援

航空券手配、保険手続き、

活動計画策定

年間活動計画策定、バザー販売、その他

必要事務手続き

行事：役員会	2024 年 6 月 15 日
親睦会 壮行会	7 月 20 日
機関紙 CIAO 69 号発行	7 月 20 日
活動報告会(管区宣教の日)	10 月 5 日 調布教会
クリスマス	12 月 21 日 サレジオユースセンター
機関紙 CIAO 70 号発行	12 月 21 日
新年会	2025 年 1 月 18 日

### 青年たちの活動

定例会（毎月第 3 土曜日）

リーダー：武井神父

### 夏の海外活動

8 月 25 日～9 月 8 日 ベトナム・南部メコンデルタ地方 カマウ省  
(派遣直前合宿：8 月 23 日～24 日 サレジオ神学院)

### 後援会の活動

☆ バザー参加による資金獲得活動

☆ 各行事の際の食事、お茶の準備 他

収入			支出		
寄付金	886,248	(DBKからの支援含む)	活動費	2,037,158	下に内訳を示す
バザー売上	1,198,208	ドン・ボスコ饅頭含む	バザー仕入	702,286	
受取利息	536		通信費	43,844	
活動参加費	630,000	参加者負担分	手数料	14,315	
			事務費	30,770	
			援助金	500,000	男子寮の工事、塗装費用
収入計	2,714,992		支出計	3,328,373	
前年度繰越金	7,800,476		次年度繰越金	7,187,095	
収入総計	10,515,468		支出総計	10,515,468	

支出活動費内訳

航空券	981,160	(10名分)
保険	168,400	
現地活動費	700,000	
壮行会費用	23,893	
その他(Tシャツ・帽子など)	71,995	
次年度 下見費用	91,710	
計	2,037,158	

バザー収支(DB饅頭含む)内訳

バザー仕入a	0
DB饅頭仕入 a'	702,286
仕入計	702,286 A

バザー売り上げb	61,000	(寄付物品売り上げ)
DB饅頭売上 b'	1,137,208	
売上計	1,198,208 B	

純益(B-A) 495,922

事務局長 武井アントニオ

会計担当 竹下尚克

監査の結果、上記のとおり確認しました。

会計監査

戸野 隆夫

会計監査

須藤 哲史

2025 年 6 月 12 日



## 2024 年度 DBVG 寄付者・支援者（順不同 敬称略）

岩崎正幸 三輪千寿子 薬真寺健臣 鴻野初恵 山田博子 林富明 大川千寿 村田玲子  
イエスのカリタス修道会 安藤隆俊 大阪星光学院高校 1 年生 武井文明 高橋喜美子  
大阪星光学院中学 1 年生 浦田謙太郎・夏子 武井明俊 マンマ・マルゲリータ修道院  
サレジオンシスターズ修学志願院 サレジオンシスターズ管区本部修道院 中井俊夫・まゆ  
中村妙子 小堀雅子 三輪修一・千鶴子 小林眞樹子 来海康世 富岡文代 辻家栄一郎  
吉田紀子 松田嘉代子 植田良子 藤原礼子 竹中由起夫 瀬戸和彦・まゆみ 森秀機  
サレジオンシスターズ大分修道院 サレジオ同窓会連合 サレジオニ・コオペラトリー  
小川真弓 サレジオ学院保護者会 木曜の会 滝口美雪 林崎恵子 サレジオ会日本管区  
小池俊子 鳥飼眞喜子 及川幸子 中村典子 松村藍子 福井博夫・安基子 小池政男  
大川肇 ステラコーポレーション サレジオ中学校 足立サレジオ幼稚園 大阪星光学院  
ドン・ボスコ社 目黒サレジオ幼稚園 町田サレジオ幼稚園 聖ヨセフ寮 サレジオ学院  
カトリック調布教会 中津サレジオ修道院 東京サレジオ学園 碑文谷教会日曜学校



後援会のみなさまへ

いつも尊いご寄付をお寄せいただきまして、ありがとうございます。

今年も、国内外の若者たちのために、そのあらゆる機会のために皆様のご支援をお願い申し上げます。振込用紙を同封いたしました。今回もどうぞご協力ください。

既にお振込み下さった方は、次回のためにお使いいただけましたら幸いです。

## ≪2025年度 DBVG 活動記録・予定≫

4月26日(土)	定例会①	国内ボランティア活動
5月17日(土)	定例会②	<u>海外活動に参加メンバーの確認</u> 、担当の振り分け
6月14日(土)	定例会③	DBVG 評議会
		<u>派遣先の準備</u> (Ciao の記事連絡)
7月19日(土)	定例会④	(保険についての説明・Ciao 発送) <u>全員出席</u>
		壮行会 (OBOG を交えての BBQ)
8月23日(土)～24日(日)		派遣直前合宿
8月25日(月)～9月8日(月)		海外派遣 ベトナム・南部メコンデルタ地方 カマウ省
9月20日(土)～21日(日)		横浜サレジオ祭 バザー (横浜サレジオ学院)
10月10日(金)		報告会の準備合宿
10月11日(土)		<b>DBVG 海外派遣活動報告会 (カトリック調布教会)</b>
10月25日(土)～26日(日)		サレジオ高専 バザー
10月 日(未定)		品川プリンスホテル ラテンアメリカバザー
11月8日(土)	定例会⑤	国内ボランティア活動
12月20日(土)	定例会⑥	クリスマスの集い

### 2026 年

1月17日(土)	定例会⑦	新年会
2月19日(木)		
～22日(日)	定例会⑧	国内ボランティア活動 (大島教会でのペンキ塗り等)
3月21日(土)	定例会⑨	来年度の海外派遣について
新年度		
4月26日(日)	定例会⑩	DBVG チャリティーコンサート (カトリック調布教会)
5月30日(土)	DBVG 創立 35 周年 (記念ミサ・祝賀会) (カトリック調布教会)	



ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ（DBVG）を支援してくださる皆様

2025 年 2 月 15 日

DBVG 代表責任者 濱崎 敦

担当 武井アントニオ

オリジナルマーク入り「ドン・ボスコまんじゅう」「やわらか焼き」  
「小瓦せんべい」価格改訂のお知らせ

いつも格別にご愛顧いただき誠にありがとうございます。

昨今、主要原材料や原油価格の高騰が続いており、ドン・ボスコまんじゅう、やわらか焼き、小瓦せんべいの原価も高くなって参りました。誠に勝手ながら 2025 年 4 月注文時より下記のように販売価格を改めさせていただきます。大変申し訳ありませんが何卒ご理解のほどお願いいたします。

	旧価格	新価格 (販売価格)
ドン・ボスコまんじゅう（バラ）	120 円	160 円
ドン・ボスコまんじゅう（2 個袋入り）	260 円	340 円
ドン・ボスコまんじゅう（3 個袋入り）	380 円	500 円
ドン・ボスコまんじゅう（5 個袋入り）	620 円	820 円
ドン・ボスコまんじゅう（20 個箱入り）	2,600 円	3,400 円
やわらか焼き（2 枚入り）	360 円	450 円
小瓦せんべい 18 枚箱入り （2 枚入り×9 袋）	800 円	1,100 円

- ① 注文は原則 E メールにて担当者をお願いいたします。  
サレジオ神学院 竹下尚克 dbvgomanju@gmail.com
- ② 電話での注文の場合、これまで通り火曜日のみとし、042-482-3117(サレジオ神学院)にて承ります。  
（以前より連絡先が変更となっております）追って担当者よりご連絡いたします。
- ③ 注文の内容を明記してください。
  - 1) お名前／団体名／事業所名
  - 2) 納品先住所、電話番号、担当者様お名前
  - 3) 品物
  - 4) 個数
  - 5) 納品日
  - 6) 付属品（袋など）
- ④ **注文から納品までに最低 2 週間かかります。**
- ⑤ 運送費の高騰により 2025 年 4 月注文時より¥1,300 の送料負担をお願い致します。何卒ご容赦ください。  
（北海道、沖縄、離島は¥1,600）
- ⑥ 納品日が過ぎましたら請求書と振込先を送付いたします。

## 《 編集後記 》

今年の夏は 8 名の青年が昨年と同じベトナム・カマウに派遣されることになりました。

8 月 25 日(月)成田出発、9 月 8 日(月)帰国です。

今年の活動も 2 週間の派遣となりますが、様々な体験を通してそれぞれが成長して帰国してくれることでしょう。

主のお恵みと参加者の安全を共に祈りくださいますようお願いいたします。

Don Bosco Volunteer Group



DBVG

*Ciao* チャオ

〒 160-0011 東京都新宿区若葉 1-22-12  
サレジオ日本管区長館内  
TEL : 03-3353-8355 Fax : 03-3353-7190  
Mail : [sbdbvg@gmail.com](mailto:sbdbvg@gmail.com)

ホームページ

<http://www.oratorio.tokyo/dbvg> (新)

<http://www.donboscojp.org/sbdbvg>

facebook

<https://www.facebook.com/DBVGJapan>

Instagram

<https://www.instagram.com/dbvgjapan/>

振替口座番号 00150-1-553622  
ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ



@DBVGJAPAN